

【千葉南部地区】

人生設計のための金融商品の利用・選択 — 「家計管理」と「資産形成」について —

1 はじめに

新学習指導要領が今年度から開始されたが、不安や戸惑いが多くある。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、この数年で授業展開の仕方の変化を必要としてきた。

今回の研修は昨年度、諸事情により開催出来なかった「資産形成の仕組み・投資信託について」を学ぶとともに、ネットの普及（ICT）に合わせて、授業展開をするための補助に繋がる資料や映像が身近にあることの確認を行った。

2 研修計画

- (1) 令和4年5月10日（火） 研究協議・テーマの決定
- (2) 令和4年7月28日（水） 研修会 [会場：千葉県立千葉工業高等学校 M3B 教室]
 - ・講師：財務省 関東財務局 千葉財務事務所 山口 氏
 - ・観点別評価方法・ICTの活用について

3 研修内容

- (1) = 講義：人生設計のための金融商品の利用・選択 ～「家計管理」と「資産形成」について～ =
パワーポイントでの資料を見ながら、説明をして頂いた。

①人生とお金 ～家計管理と生活管理～

ア. 家計管理の基本 イ. 生活設計とは ウ. 一生涯の収入と支出（勤労者家計の平均）

エ. 人生の3大資金（教育資金・住宅資金・年金） オ. お金の使い道を考える カ. お金を貯めるには

②金融商品の選択 ～資産形成～

ア. 資産運用における金融商品の種類（預貯金・金利の推移・金利を実感してみよう・株式・債券・投資信託）

イ. 金融商品の評価ポイント ウ. リスクとリターン 他 金融経済教育関係のサイト等

※パワーポイントの資料も頂いた。

- (2) = 観点別評価方法・ICTの活用について =

それぞれの学校で使用している教科書会社のHPを開くと、シラバス・学習指導計画・観点別評価方法の作り方や、実習や実技、各目次に併せて資料として使える映像が掲載されている。今までは、生徒に見せたい映像等があるときはビデオやDVDを教科書費用から購入し、時代に合わせて見えなくなったり、また捨てるに捨てられず準備室の片隅に置いてあることが多かった。しかし、時代に合わせてQRコード・映像が作成されており、長時間ではなく短時間で仕上げている映像が多数あるため、教員も生徒もいつでも見ることができ使い勝手が良い。

4 考察・感想

考察：今までの授業でも、経済生活について触れてきた。しかし、高校生活中は、アルバイトをしている

一部の生徒ですら、経済生活の営みについて理解するのが難しい現状である。

普通科高校では、卒業後も進学が多く、自分自身の経済生活の営みが把握しにくい。また、職業高校では、卒業後はすぐに経済生活の営みを行わなければいけないのだが、2年生や3年生の前半で授業を行っても、イメージが沸きにくい。

そして、新型コロナウイルス感染症や物価高の影響で、ますます経済状況にダメージを受けているご家庭が増えている中、余裕資金（眠っている資金）の授業を聞いても、イメージが沸きにくいのではと懸念する部分がある。今までの授業展開を基礎に、新しい分野を私たちも学んでいく必要性を強く感じた。

感想：（1）・余裕資金どころか生活資金にも困る生徒や家庭環境を考えると余裕資金の運用の内容は難しく思います。

- ・収支の種類等の支出の把握ができたので授業に繋げていきたいです。
- ・「72の法則」はインパクトがあるので生徒はわかりやすい。
- ・資産運用の重要性が、少し前と現代では異なるので、「眠ってる資産ができれば」の運用についてしっかり伝えていきたい。
- ・大人でも難しい内容の資産運用を、根本的なことが理解出来ていない生徒に理解させるのは難しいと感じた。
- ・しっかり計画をたてて伝える内容を明確にしたい。
- ・言葉の意味なども自身も学びながらやっていこうと考えています。
- ・金融商品をみるポイントを知ることは大切だと感じました。
- ・成人年齢引き上げになり、授業内でも資産・お金のことについてよりよく教えていきたいと思います。
- ・NISA や iDeCo についてももう少し自身が勉強しないと難しい。
- ・伝えるべき内容が多すぎて、1時間では厳しい。

（2）・教科書会社のHPに動画等が掲載されていることを知る機会がなかったので、活用したいです。

- ・簡単なシュミレーションができるアプリや資料が、ネット上にはあるので使用できるものを厳選すれば、ICT活用しやすく生徒が興味を持つと思います。
- ・3観点での特徴の認識が難しく、評価が交差するものに対する判断についても難しさを改めて実感した。
- ・授業を効果的にするためにも、動画を使用しつつ工夫をして授業展開していく必要性を感じた。
- ・観点別評価については、生徒もひょうかについて理解し、教員側はできるだけ合理的に行える方法を考えていきたい。
- ・教科書会社の学習ノート等で観点別項目が示されているのは、生徒にとっても教員にとっても便利だと思います。

5 おわりに

昨年予定をしていた、資産運用の内容が実施できたことに感謝いたします。また、関東財務局の方もリモートワーク中だったにもかかわらず快く引き受けてくださり、厚く御礼を申し上げます。

また、教科書会社のHPや学習ノート等の内容も、本校が使用している会社だけではなく他社でも同ような掲載を行い、少しずつ異なる内容があることを偶然知ることができ、アドバイスを親身になっておこなって頂いた事にとっても感謝すると共に厚く御礼を申し上げます。